

記入日：令和 2年 5月 7日

1. 事業所名（事業名）

就労移行支援事業所 ワークス・アントレ

2. 主な対象者（知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害等）

知的障害、発達障害、精神障害

3. 週間スケジュール ※時間・内容を自由に記載ください

曜日 時間	内容				
	月	火	水	木	金
9:30 ~ 12:00	電話確認（朝） 個別課題の実施	電話確認（朝） 個別課題の実施	電話確認（朝） 個別課題の実施	電話確認（朝） 個別課題の実施	電話確認（朝） 個別課題の実施
昼食					
13:00 ~ 15:00	個別課題の実施	個別課題の実施	個別課題の実施	個別課題の実施	個別課題の実施
	電話確認（夕）	電話確認（夕）	電話確認（夕）	電話確認（夕）	電話確認（夕）

4. 支援内容

1) 訓練の内容 ※訓練で使用している具体的な内容をご紹介します

ツール	内容（課題の内容・使い方）	時間	結果
電話確認（朝）	体温、体調（本人、家族）本日の課題の確認	10分	その日の状況確認ができている
電話確認（夕）	体温、体調（本人、家族）その日の課題結果、明日の予定の確認	10分	その日の状況確認ができている。課題などの不足を郵送や訪問などで対応することができた
新聞のスクラップ	春秋欄を切り抜き用紙に貼る。内容を読んでノートに写し、感想や要約などを自由に書く	60分	500~600文字程度の内容なので読みやすく書きやすい。
履歴書・職務経歴書の作成	就職活動に向けて、訓練で作成した履歴書などの見本をもとに作成する。	120分	就活の気分を感じることができモチベーションにつながる。
面接練習	パワーポイントで個別の問答集を作成しパソコンやスマートフォンを使って練習する。	30分	自分のペースで繰り返し練習ができるので問答を覚えることができ自信をつけることができる。
ストレッチ	地域のポータルサイトより動画を見ながらストレッチをする。	10分	運動不足解消と気分転換になる。

心理教育	自分のストレスを知る。(ストレス高体温症)微熱日記をつけてもらい体温とストレス温度計、生活リズムなどを記録してもらう	10分	毎日、体温チェックをすることで高体温であることを知ることができた。ストレスとの関係性に気づききっかけになった。
見本を見て折り紙を折る	折り紙オンラインや折り方見本集など用いて好きな折り紙を折る。	30分	興味のある人のみおこなった。自分のペースでできるので気分転換になった。
求人検索	ハローワークインターネットより希望の職種等の求人を検索する。	60分	どんな職種の求人があるのかを知ることができた。
言語訓練	スマートフォンより動画を見ながら訓練をおこなう。	30分	通所での訓練と同じようにできた。
学習課題	計算、漢字などできそうなものを紙面で渡す。	60分	プリントの量が多すぎてしまい過集中となり疲れてしまった。

2) フォローアップの方法

①訓練課題

- 1日のスケジュールを作成してもらい在宅訓練を行ってもらっている。
- 課題の量が少なかったため希望の利用者へは訪問や郵送などで対応している。
- 電話連絡はこまめに電話が受けられるように、在宅スタッフが当番制にして対応している。

②就職活動支援

- 履歴書、職務経歴書など訓練中に作成したものを見本にすすめられるようにした。(3枚程度)
- ハローワークの求人を検索してもらい求人をピックアップしてもらう。電話連絡等で気になる求人があればハローワークと一緒に職場開拓をする。
- 面接が延期になった利用者へは、パワーポイントでの面接練習をしてもらい、電話連絡で必要なアドバイスができるようにしている。

③生活支援

- 毎日体温を測ってもらい電話した際に確認をおこなう。記録表をつけてもらう
- 朝の生活リズムが崩れてしまうケースもあり、朝の電話連絡をモーニングコールにしたり家族との情報共有しながら問題解決を図っている。

④その他

- 新型コロナウイルスで不安になっている利用者や就職活動が止まっていることで不安になっているケースに関しては、安全に配慮しながら面談や電話での相談を実施している。

5. その他

1) 参考資料

①新聞 (春秋)

- 地域の新聞に掲載されているコラムを活用。専用のノートが販売されているので利用しやすい。(コピーして使用できる。)

②WEBサイト

- 地域のポータルサイトを案内して、ストレッチやゲームなど stay home が楽しめるような内容を紹介している。

2) 課題

- スケジュール管理やメール、スマートフォンの活用やオンラインシステムの機能が使えるように準備しておく必要があった。

記入者： 岩田保恵